

技術名称：パネル式ユニットシステム吊り足場 TOBISLIDE（トビスライド）

申請者名：株式会社三共

■活用の効果（技術部門（主部門）のアピールポイント）

※従来技術名（パイプ吊り足場工・防護工）

項目	活用の効果			発現する効果	
				申請技術	従来技術
経済性	向上 (13%)	同程度	低下 (%)	資材損料は高くなるが、設置・撤去の歩掛が向上するため経済性が向上する。	材料費などは標準的な単価となっているが、歩掛・工程などを含むとコスト的に割高となる。
工程	短縮 (28%)	同程度	増加 (%)	簡単な作業の繰り返しで設置・撤去が可能となり工期が短縮する。	単管パイプの組み合わせのため、取り付け位置の測定・クランプ固定と一定の作業時間を必要とする。
品質・出来形	向上	同程度	低下	システム化しているため、段差と隙間が無くなる。また、パネル押さえ板が養生シートの抑えとなり、シートが巻き上がらなく通行性と運搬性が良くなる。	敷設した木製足場板同士の隙間と段差による養生シートの手間が多い。また養生シートのテープなどによる固定が難しく巻き上がる可能性がある。
安全性	向上	同程度	低下	送り出し工法により、吊りチェーン設置時には常に床があり安全性が向上する。防護柵（朝顔）に透明パネルを使用することで採光性が良く、明るい作業床となりつまずきなどの危険が軽減される。	吊りチェーンを設置する際、身を乗り出しての作業となり危険が生じる。防護柵（朝顔）を設置すると作業床が暗くなりつまずきなどの危険性がある。
施工性	向上	同程度	低下	専用クランプの活用により防護柵（朝顔）の脱着が簡易になり施工性が向上する。	防護柵（朝顔）の施工に垂木の番線固定と合板のビス止めの工程が必要となる。
環境	向上	同程度	低下	番線を使用しないため、撤去時の番線の飛散や、回収作業が無くなり廃材処理もなくなる（環境への影響が低減する）。	足場板の固定と防護柵の幅木固定に番線を使用するため、解体時に番線を捨てることになる。
維持管理性	向上	同程度	低下	該当なし	該当なし
その他	向上	同程度	低下	該当なし	該当なし

技術名称：パネル式ユニットシステム吊り足場 TOBISLIDE（トビスライド）

申請者名：株式会社三共

■活用実績

発注者	県内件数	県外件数
広島県	0 件	—
その他公共機関	0 件	9 件
民間等	0 件	4 件

発注者	年度	公共工事名(事業名)
神奈川県	R5	中津川大橋橋梁補修工事
埼玉県	R5	前谷津橋耐震補強工事
岡山県	R5	第2千町高架橋橋梁補修工2
飛騨市	R5	飛騨市道路橋等維持管理個別施設計画
岡山市	R4	県道原藤線(中原橋)塗装補修
京都府	R4	大堰橋側道橋補修工事
徳島県	R4	徳島県引田線歩道橋塗装工事
静岡県	R4	黒俣橋橋梁耐震補強工事
四国地方整備局	R4	国道55号西鉦打橋外橋橋梁塗装工事

■国土交通省 (NETIS) への登録状況

申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価(事前・事後)
近畿地方整備局	2021年12月20日	KK-210061-A	事後

■建設技術審査証明の発行状況

発行機関名	証明書発行年月日	証明書番号

■国及び都道府県等による技術的審査を受けている状況

なし

■知的財産等

特許・実用新案				番号	
特許	1. あり	2. 出願中	3. 出願予定	4. なし	特願2021-120061
実用新案	1. あり	2. 出願中	3. 出願予定	4. なし	

■当該技術の課題と今後の改良予定

<p>高所作業車が使用できない敷地内において、地上から作業床の始点まで製品運搬を効率化するため、揚重方法を検討し開発を行っている。また仮置き場から作業床上の運搬や横持ち移動に関しても検討している。</p>
--